

# てんでねっと

連載71回

## 先輩になる日に向けて

今回ご紹介するのは、飯山市にある株式会社マウスコンピューターに勤務されている鷲野さん(20)です。鷲野さんは「自分のペースで色々な仕事をみて、体験して、自分に合った仕事を見つければ、働くための力をつけてから」との想いから、特別支援学校を卒業後に就労移行支援事業所への進路を決意されました。

就労移行支援事業所では就職前の実習を経験されています。

その当時、指導にあたったのが先輩の小菅嵩征さんです。小菅さんは2年前の「てんでねっと」のインタビューで「自信」というテーマで紹介されました。離職の経験から自信をなくされた時期もありましたが、就労移行支援事業所の利用を通じて自信を取り戻し「遠回りもアリ」という想いにたどり着いた方です。

そんな先輩から指導を受けた鷲野さんですが、実習中に漏らした「楽しくない」という一言が先輩の小菅さんにとっては自分の教え方が悪いのかと思うこともあったそうです。その当時を振り返ると、鷲野さんはその頃「責任を持って仕事ができるようになった時、おもしろいと感じることができるとい意味で話されていたということが分かり、笑い合う場面も。

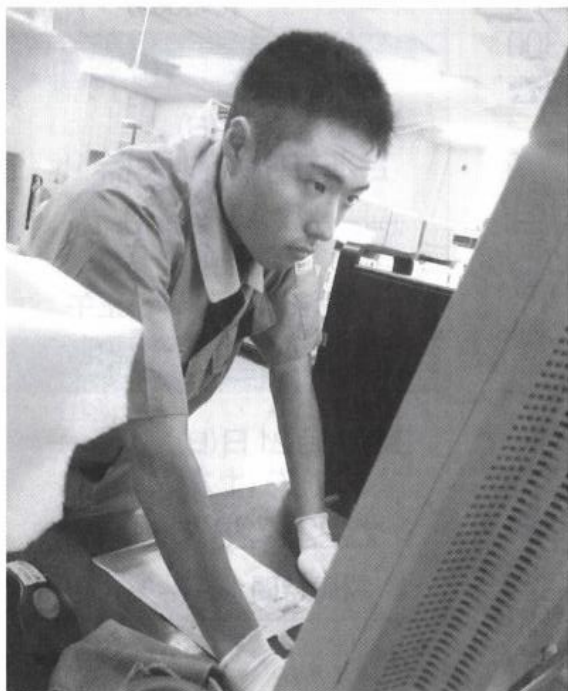
鷲野さんは自分の気持ちや考えを言葉で伝えることが苦手です。今回のインタビューでも取

材者とのやりとりに緊張を感じてしまうとの理由から、先輩である小菅さんの同席によりお仕事の様子を伺いました。先輩からの言葉に、終始照れながら頷いたり笑顔をを見せてくれたりする鷲野さんからは先輩を尊敬する気持ちが伝わってきました。プライベートでも仕事でも目標を持っている鷲野さん。今の目標は「自動車免許の取得」で、

参考書を購入し小菅さんからもアドバイスを受けながら勉強中だそうです。

働き続ける上で、職場の人間関係は働く人の意欲を大きく左右します。自分も職場の中で信頼される人になりたいと願っている鷲野さんをととても頼もしく感じました。

(雇用支援ネットワーク部会員 小湊寿幸)



鷲野さんが働く姿を動画でもご覧になれます！



**You Tube** マウスコンピューター公式webムービー

「もしもロボットがいてくれたら」

を検索ください！

鷲野さん登場シーンは2分9秒。ラストシーンにも登場します。